

水素モデル街区における集客交流施設の整備について①

■設置・運営事業予定者

株式会社 土屋ホーム不動産

株式会社 じょうてつ

■完成予定時期

2028年3月末

■所在地

中央区大通東5・6丁目

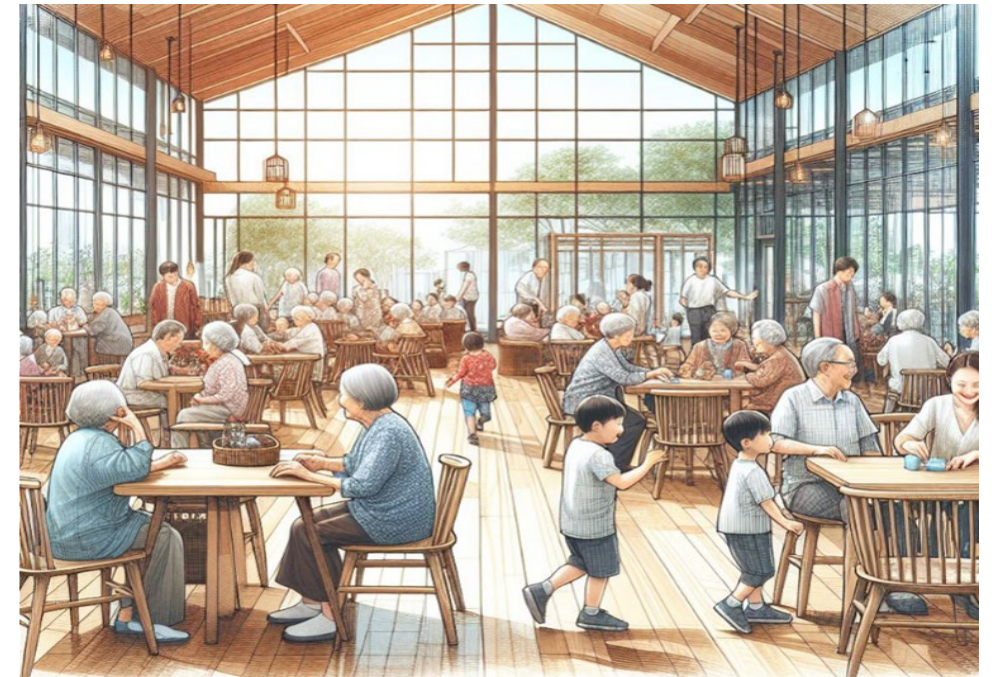


▲外観パース図

水素モデル街区における集客交流施設の整備について②

■施設コンセプト

- ①水素エネルギーを身近に感じてもらうための普及啓発
- ②純水素型燃料電池や太陽光パネルを設置し、施設をゼロカーボン化
- ③ZEB Ready以上の水準を達成
- ④道産木材を多く使用
- ⑤カフェやシェアスペース、宿泊施設を運営



▲内観パース図

●水素モデル街区における集客交流施設の整備について

札幌市では、使用時に二酸化炭素を出さず、停電時でも電気や熱を供給することができる水素エネルギーを活用した「災害に強く環境にやさしいモデル街区」(水素モデル街区)の整備を進めており、第二弾の施設となる集客交流施設のコンセプト等が決まりましたので、お知らせいたします。

同施設は、市民の皆さまに水素エネルギーを身近な存在として実感していただくことを目的としており、隣接する水素ステーションから水素エネルギーを供給し、カフェや宿泊施設を運営する予定です。また、純水素型燃料電池や太陽光パネルの設置などにより、施設のゼロカーボン化を目指します。

今後も、水素や再生可能エネルギーを活用し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを進めてまいります

1 集客交流施設の概要

- (1) 事業予定者：株式会社土屋ホーム不動産、株式会社じょうてつ
- (2) 完成予定時期：2028 年 3 月末
- (3) 所在地：中央区大通東 5 丁目 12 番 13、大通東 6 丁目 12 番 22
- (4) 構造：木造 4 階建て
- (5) 延床面積：約 2,000 ㎡



▲ 外観パース図

2 施設コンセプト

- (1) 水素エネルギーを身近に感じてもらうための普及啓発を行う
- (2) 純水素型燃料電池や太陽光パネルを設置し、施設をゼロカーボン化
- (3) 従来の建物で必要なエネルギーから 50% 以下まで削減する ZEB Ready 以上の水準を達成
- (4) 道産木材を多く使用し、愛着が持てる建物
- (5) にぎわいの創出のため、ベーカリーカフェやシェアスペースを整備。また、都市観光の促進のため、グループ旅行やロングステイに適した宿泊施設を運営。



▲ 内観パース図

【問い合わせ先】

まちづくり政策局グリーントランスフォーメーション推進室
水素事業担当課 佐藤
電話：211-2424